モル（2000）

メディア 映画
ジャンル ドラマ　コメディ
製作国 日本
色彩 Color
時間 76分
初公開日 2002/03/16
公開情報 レモンティー★ピクチャーズ＝ぴあ

【キャッチコピー】
坐薬　ｏｒ　ＤＩＥ

【解説】
2001年の「第23回PFF／PFFアワード2001」にてグランプリとブリリアント賞を受賞したタナダユキの初監督作品。月に１度、女の子にはどうしても避けて通れぬ“生理”の憂鬱。ただでさえブルーな生理中に、輪をかけるように不幸に見舞われるヒロインの、それでもへこたれないバイタリティ溢れる姿をユーモラスかつパワフルに描く。
25歳のゆかりは、生理中のある日、自殺しようとしている男と目が合って、高熱を出してしまう。以来、なぜか生理中になると自殺者と目が合い、高熱を出すという特異体質になってしまった。女優を目指すゆかりは、美術モデルとして日銭を稼ぐ身。高熱を下げるために仕方なしに坐薬を打ち続ける毎日。そんなゆかりに追い討ちをかけるように、つき合っていた男が暴力を振るう。ゆかりは逆ギレして彼氏をボコボコに。それでも懲りないゆかりは、またしてもダメ男に引っかかる。いつまで経っても生理と坐薬とダメ男に振り回されるゆかりだったが……。

【クレジット】
監督 タナダユキ
脚本 タナダユキ
撮影 久保延明
山田麻理枝
編集 久保延明
山田麻理枝
音楽 山田康博　(Y-SONIQ)
出演 タナダユキ　西原ゆかり
石川貴子
岩波才靖

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.